



役員になって思うこと 役員 古川 巧

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。

松浦武四郎記念館友の会の活動について、会員の皆様にはご指導・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

友の会へ入会して 4 年となり、色々なことを学び、毎月の武四郎講座、武四郎の足跡を訪ねる研修バス旅行や他の団体との交流会に参加させていただき、武四郎の業績について理解が深まるにつれて、活動意欲がでてきました。

また、8 月 31 日～9 月 4 日に松阪偉人顕彰団体協議会が主催(友の会として参加)した「松阪の偉人たち展」において、私も説明員として来場者に武四郎の業績を説明していて、更に勉強する必要性を感じました。

武四郎は、蝦夷と呼ばれた時代の北海道を六回調査・探検し、その中でアイヌの人々の豊かな人間性に触れ、彼らの良き理解者となった人、ヒューマニスト、その人が松浦武四郎で、地元の偉人の功績を多くの人に知っていただくため、活動をつづけていきたいと思えます。

飯田会長から要請を受けて昨年より役員になりました。今後更に研鑽して、友の会の活動が活発になるよう努力してまいります。会員及び役員の協力をお願いします。



松阪の偉人たち展にて

「谷川士清の会」との交流会実施

津市八町に旧宅がある谷川士清を顕彰する会である「谷川士清の会」との交流会を 9 月 24 日(土)に実施しました。

「谷川士清の会」から 9 名、友の会から 12 名、及び松浦武四郎記念館から中野館長が参加し、総勢 22 名で実施しました。

先ず、谷川士清旧宅で事務局の佐野さんから士清の業績や出版した「日本書紀通證」「和語通音」「和訓栞」等を確認すると共に説明を受けました。その後、旧宅から少し離れたところにある「福蔵寺」「士清のお墓」「反古塚」について別所さんから説明をして頂くと共に見学しました。

その後、新町会館の会議室で交流会を行いました。

先ず、「谷川士清の会」から池村代表の挨拶、「友の会」から飯田会長の挨拶、続いて「記念館」の中野館長の挨拶と武四郎の業績等について紹介がなされました。

交流会では、それぞれの会の活動内容の経過や現在の課題について報告された後に活発な意見交換を行いました。



谷川士清



反古塚

松阪市と津市は雲出川を挟んで直ぐ隣ですが、「谷川士清」の業績について余り知らない方が多く勉強になりました。また、交流会によってそれぞれの会について深く理解でき、今後の活動に大いに参考になりました。

谷川士清の略歴

谷川士清は、宝永6年(1709)2月26日に津市八町の町医者の子に生まれ、幼少の頃より聡明で、京都遊学ののちは家業を継いで地域の名医としても名をはせました。

また、何より士清の名声を高めたのは『日本書紀通証』や『和訓栞』に代表される国学研究です。特に『和訓栞』は現代の国語辞典の原型であり、我が国で初めて本格的な五十音順に編纂された画期的な辞書です。

松阪市の偉人である本居宣長とも交流が深く、宣長が著した『古事記伝』について意見を述べています。

原稿やメモ類について、後世に誤った解釈がされないように自ら埋め、それを「反古塚」と名付けました。安永5年(1776)10月10日に亡くなり、自宅近くの「福蔵寺」に葬られました。



左側が士清の墓(国指定史跡)
右側が孫の土行(ことつら)の墓



交流会の様子(福蔵寺にて)



交流会の様子(新町会館にて)

松阪偉人顕彰団体協議会よりのお知らせ

第二回目となる「松阪の偉人たち展」が、8月31日(水)～9月4日(日)の4日間松阪市文化財センター第二・第三ギャラリー室において開催されました。

初日の31日には、朝9時半からオープニングセレモニーが行われました。

高島会長、東教育長の挨拶、後援していただいた公益財団法人 原田積善会、三重県退職教職員互助会、三重県友の会の代表者の挨拶のあと、各団体の紹介が行われ、テープカットを行いました。

今年は、松浦武四郎はじめ大谷嘉兵衛、矢土錦山、蒲生氏郷、原田二郎、角屋七郎兵衛、東畑精一の7人の偉人について、それぞれのコーナーを設けて展示しました。どのコーナーも昨年より充実した内容の展示となり、9月3日(土)・4日(日)はギャラリートークを行い、好評でした。

心配していた台風の影響も少なく、夏休み最後の期間でもあり、お子様連れのご家族や歴史・偉人に関心のある多くの方々に来館いただきました。

武四郎のコーナーに来られた方は、8月2日のNHKテレビ「知恵泉」を観て、北海道を旅行して現地のの人から武四郎の事を聞いて、北海道に友達が居て武四郎の事を知ったから等の理由で武四郎に関心をお持ちの方が多く来られました。

※松阪の偉人として展示された人物は、

「松阪の先人たち略伝」と題して、大淀三千風、本居宣長、本居春庭、本居大平、狩野良信、韓天寿、三井高匡、大林省軒、三井載星、高畠式部、殿村小霞、岡田月塘、田南岳璋、丹羽正伯、中津元義、三井高蔭、櫛亭琴魚、長野主膳、土居光華、長谷川可同の略歴と縁のあるものの展示を行いました。

※友の会としては、武四郎の生涯の功績と共に、友の会活動(蝦夷山桜や武四郎まつりの写真等)を展示しました。



松浦武四郎のコーナーの前で開会式が行われました！！

展示期間中に説明等お手伝いいただいた方々、ありがとうございました。

また、来年は6月初旬に開催する予定です。

友の会主催の武四郎講座を開催！

9月11日(日)の武四郎講座は講師に小玉道明先生をお迎えし、友の会主催で開催しました。

小玉道明先生は、本草学や考古学など幅広い分野の研究で知られ、当記念館の運営審議委員会委員で、三重県の県史編さん専門委員でもあります。

武四郎と同年代を生き、「本草学」研究者の西村広休(ひろやす)について講演していただきました。

お話をお聞きして、武四郎は蝦夷地を探検しながらアイヌの生活について記録すると共に、植物や動物を絵に纏めており、広休の影響を少なからず与えたのではないかと感じました。



小玉道明先生

西村広休(1816~89)は両替商・大和屋の第十一代当主で家業の傍ら、屋敷内に「成蹊園」と名付けた約2000㎡の植物園を設け、1000種を超える植物を栽培し、膨大な書籍や写生図類を収集した。また鳥獣、魚、貝などにも目を向け、その識別などの研究に心血を注ぎました。

【記念館よいのお知らせ】

☆武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

11月13日(日)10時~ テーマ：アイヌとして生まれて 講師：川上裕子氏
お話の後、アイヌ舞踊の披露があるかも・・・お楽しみに・・・

※講師の川上裕子氏は、札幌在住の民芸・工芸品作家で11月11日~13日に企画展示室で、作品(刺繍・木彫り等)を展示します。

12月11日(日)10時~ テーマ：未定 講師：山本命(松浦武四郎記念館)

1月8日(日)10時～

テーマ：未定

講師：山本命(松浦武四郎記念館)

☆企画展示のご案内

◆世にも稀なる蝦夷屏風 ～ 11月20日(日)まで

六曲一双の屏風の表裏に武四郎宛の書簡や蝦夷地に関する資料が張り付けられた他に類をみない蝦夷屏風について説明します。一昨年从去年にかけて修復され初公開となりました。

◆武四郎が集めたもの 11月22日(火)～ 1月22日(日)まで

武四郎は様々なモノや情報を収集した事物でもあり、外交、政治、文化、古物など、武四郎が集めたモノや情報を紹介します。

◆武四郎の生涯 1月24日(火)～ 3月26日(日)まで

幕末から明治維新を生きた武四郎の波乱万丈に満ちた生涯を知られざる資料から紹介します。

◆武四郎と文人たち 3月28日(水)～ 5月28日(日)まで

武四郎は詩歌、書画の世界にも通じ、幕末から明治維新に活躍した文人たちと交流していることから、文人としての武四郎の姿と、武四郎と交友のあった文人の作品を紹介します。

☆武四郎の生家の改修が始まりました！！

武四郎の生家は建造されて約200年近く経ち、倒壊の危険がある為、いったん解体して耐震補強し、主屋の土間や座敷、離れの座敷、庭を復元します。

工事中はシートで覆うため、外観の見学もできなくなります。改修は来年11月末までかかり、生誕200年にあたる平成30年(2018年)に公開の予定です。

公開後は、北海道との交流や松阪のPRに活用し、イベントも行われる。

【友の会よりのお知らせ】

◆会員交流懇談会開催日変更のお知らせ

12月11日に予定していましたが、都合により1月8日の武四郎講座の後に変更します。

多くの方々のお出席及び積極的なご意見・提案をお願いいたします。

◆「谷川士清の会」との交流会のお知らせ

1頁に記載している交流会は友の会が、谷川士清の旧宅及び周辺のゆかりの地を案内して頂きました。今度は、記念館に「谷川士清の会」の方々をお迎えして交流会をします。関心のある方は、記念館及び友の会の役員にお尋ねください。

日時：11月6日(日)

主なスケジュール

10:00 ～ 11:30 講演会・・・会議室にて

三浦泰之氏の講演「なんじゃこりゃ？すごいぞ！蝦夷屏風」を聴きます

11:30 ～ 12:00 展示室を見学します。

12:00 ～ 13:30 食事(お弁当)をしながら交流会・・・会議室にて

※お弁当代として参加者一人当たり500円を徴収します。

◆11月12日(土)開催の「武四郎の足跡を訪ねて大杉谷へ」は、定員になりましたので、募集を締め切りました。